

W0. Introduction

W0.1

(W0.1) Give a general description of and introduction to your organization.

当社グループは、自動車用の手動変速装置関連事業および自動変速装置関連事業の製造販売を主な事業内容とし、さらにそれらの事業に係る各種サービス活動を展開しております。

W0.2

(W0.2) State the start and end date of the year for which you are reporting data.

	Start date	End date
Reporting year	April 1 2020	March 31 2021

W0.3

(W0.3) Select the countries/areas for which you will be supplying data.

- China
- Hungary
- India
- Indonesia
- Japan
- Malaysia
- Mexico
- Thailand
- United States of America
- Viet Nam

W0.4

(W0.4) Select the currency used for all financial information disclosed throughout your response.

JPY

W0.5

(W0.5) Select the option that best describes the reporting boundary for companies, entities, or groups for which water impacts on your business are being reported.

Companies, entities or groups over which financial control is exercised

W0.6

(W0.6) Within this boundary, are there any geographies, facilities, water aspects, or other exclusions from your disclosure?

Yes

W0.6a

(W0.6a) Please report the exclusions.

Exclusion	Please explain
国内外 営業所17拠点	全水使用量に対して、見積もられる使用量が0.2%未満と極めて少ないため除外する

W1. Current state

W1.1

(W1.1) Rate the importance (current and future) of water quality and water quantity to the success of your business.

	Direct use importance rating	Indirect use importance rating	Please explain
Sufficient amounts of good quality freshwater available for use	Vital	Vital	<直接利用> EXEDYグループでは原則的に大量の水を必要としない。主な用途は社員食堂やトイレ、手洗いなどで、良質な淡水を使用している。一部の冷却、部品洗浄などの製造工程において、良質な淡水を使用している。またグループ企業のうち、一社で製紙工程を持っており、工業用水として川から取水した大量の水を購入している。そのため、直接的な淡水の利用については必要不可欠と判断しました。<間接利用> EXEDYグループの一次サプライヤーやさらに上流サプライヤーの多くにとっても、部品の洗浄工程や鉄などの素材を製造する際の冷却工程に十分な量の良質な淡水は重要です。そのため、直接的な淡水の利用については必要不可欠と判断しました。現時点で業種等の変更もなく、今後の水依存度も直接、間接共に同様と考えます。
Sufficient amounts of recycled, brackish and/or produced water available for use	Neutral	Neutral	<直接利用> EXEDYグループは、リサイクル水、半塩水、随伴水をほとんど使用せず、ほぼ淡水を使用していますが、雨水や冷却に使用した水をトイレや植木への散水、屋根の冷却に活用しています。水を大量に使用する製紙工場ではBCMの観点からコスト増にはなりますが、RO膜を用いた再生システムを利用し、水の再利用を一部実験的に行っています。そのため、全体の割合が少ないこと、リサイクルを停止した際の影響が少ないことから中立と判断しました。<間接利用> EXEDYグループの一次サプライヤーやさらに上流サプライヤーの多くにとっても、水の使用状況は当グループと類似していると理解しています。そこで、中立と判断しました。現時点で業種等の変更もなく、今後の水依存度も直接、間接共に同様と考えます。

W1.2

(W1.2) Across all your operations, what proportion of the following water aspects are regularly measured and monitored?

	% of sites/facilities/operations	Please explain
Water withdrawals – total volumes	100%	すべての生産工場（全28社）で確認している。モニタリングの頻度は安全衛生環境活動指標管理要領に基づき毎月パフォーマンスデータを収集しています。量についてはメータ及び請求書ベースで確認
Water withdrawals – volumes by source	100%	すべての生産工場を確認している。モニタリングの頻度は安全衛生環境活動指標管理要領に基づき毎月パフォーマンスデータを収集しています。多くが上水（市水）である。川（1/25社）、地下水（5/25社）からの取水量についてはメータ及び請求書ベースで確認
Entrained water associated with your metals & mining sector activities - total volumes [only metals and mining sector]	<Not Applicable>	<Not Applicable>
Produced water associated with your oil & gas sector activities - total volumes [only oil and gas sector]	<Not Applicable>	<Not Applicable>
Water withdrawals quality	76-99	取水の水質確認が必要な拠点は、主に川と地下水からの取水である。第三者から購入した水（主に上水道）からの取水については原則水質確認は必要でない。例外となるインドやメキシコなどの一部の工場では石灰成分の除去や飲料用にRO膜を用いて不純物を除き提供したり、飲料用をボトル購入し、従業員に提供している。川、地下水からの取水については、飲料用、生産用と用途区分を分けて、濁度や、残留塩素量等目的に合わせて測定を行っている。頻度については項目と水の使用用途により異なる
Water discharges – total volumes	76-99	すべての生産工場を確認している。モニタリングの頻度は安全衛生環境活動指標管理要領に基づき毎月パフォーマンスデータを収集しています。量についてはメータで確認
Water discharges – volumes by destination	76-99	すべての生産工場を確認している。モニタリングの頻度は安全衛生環境活動指標管理要領に基づき毎月パフォーマンスデータを収集しています。量についてはメータで確認
Water discharges – volumes by treatment method	76-99	すべての生産工場を確認している。モニタリングの頻度は安全衛生環境活動指標管理要領に基づき毎月パフォーマンスデータを収集しています。量についてはメータで確認
Water discharge quality – by standard effluent parameters	76-99	すべての生産工場を確認している。モニタリングの頻度は各工場の負荷に応じて測定(常時、1日1回、週1回、月1回等)を行っている。測定の結果は異常がない場合は年1回結果を収集しています。異常発生時は即時報告。測定項目は排水の種類・放流先によって異なる。例・工場排水（pH,BOD,SS,油分等/1回/日～2週間）・生活排水（同上、大腸菌数 毎月）・雨水(油膜の有無等 常時監視)
Water discharge quality – temperature	Not relevant	当項目は当社に関連しません。その理由は、当社から排水される排水は常温であり、環境への温度による影響がほとんどないと考えられるためです。また、将来予測として、当社から排水される水の温度は常温であり、大きな変化はないと考えているため、今後も関連性はないと判断しています
Water consumption – total volume	76-99	製品に水が含まれることがないため、・クーリングタワーなど一部の 蒸発する量・屋根等への散水量 モニタリングの頻度は月1回。
Water recycled/reused	76-99	北米など水ストレスの高い地域の取水量を削減するために排水リサイクルを進めています。設備導入による改善の効果を確認するためにリサイクル量の管理をしています。モニタリングの頻度は月1回。リサイクル量は排水処理場で処理した排水をRO膜を通し、工程で使用した水の量としています。計算方法はガイダンスと同様です。
The provision of fully-functioning, safely managed WASH services to all workers	100%	当社は、清潔な水や衛生へのアクセスを基本的人権として認識しており、すべての生産事業所においては、法の求めの如何に依らず、当社の全従業員に対しても全契約社員に対しても同様に、清潔な水や衛生を提供しています。清潔な水や衛生へのアクセスが全生産事業所において確保されているか、年1回訪問監査にて今後も確保されるかどうかについて定期的にモニタリング・評価しています。

W1.2b

(W1.2b) What are the total volumes of water withdrawn, discharged, and consumed across all your operations, and how do these volumes compare to the previous reporting year?

	Volume (megaliters/year)	Comparison with previous reporting year	Please explain
Total withdrawals	2265.56	About the same	前年度比：3.9%減少・生産数増減に伴う変化：COVID-19に伴う生産減・今後の変化：生産拠点増などといった大きな変化はない（除くCOVID-19に伴う生産減/回復による生産増）W5.1 水量の変化の定義 はるかに少ない -30% ~ 少ない -5% < x < -30% ほぼ同じ +5% 多い 5-30% はるかに多い 30%
Total discharges	2203.94	About the same	前年度比：4.05%減少・生産数増減に伴う変化：COVID-19に伴う生産減・今後の変化：生産拠点増などといった大きな変化はない（除くCOVID-19に伴う生産減/回復による生産増）W5.1 水量の変化の定義 はるかに少ない -30% ~ 少ない -5% < x < -30% ほぼ同じ +5% 多い 5-30% はるかに多い 30%
Total consumption	61.73	About the same	前年度比：2.25%減少・生産数増減に伴う変化：COVID-19に伴う生産減 中国、タイの拠点では排水/取水の割合を10%~20%とするよう行政からの指示があり、該当拠点は実測値から計算値で算出している。消費量の多い地域でのロックダウンによる影響が影響を及ぼしている。・今後の変化：生産拠点増などといった大きな変化はない（除くCOVID-19に伴う生産減/回復による生産増）W5.1 水量の変化の定義 はるかに少ない -30% ~ 少ない -5% < x < -30% ほぼ同じ +5% 多い 5-30% はるかに多い 30%

W1.2d

(W1.2d) Indicate whether water is withdrawn from areas with water stress and provide the proportion.

	Withdrawals are from areas with water stress	% withdrawn from areas with water stress	Comparison with previous reporting year	Identification tool	Please explain
Row 1	Yes	11.25	About the same	WRI Aqueduct	前年度比：1.78%減少・生産数増減に伴う変化：COVID-19に伴う生産減 リスクはAqueductの2021/07/12時点での現時点での水ストレス「Baseline water stress」Midium以上とする W5.1 水量の変化の定義 はるかに少ない -30% ~ 少ない -5% < x < -30% ほぼ同じ +5% 多い 5-30% はるかに多い 30%

W1.2h

(W1.2h) Provide total water withdrawal data by source.

	Relevance	Volume (megaliters/year)	Comparison with previous reporting year	Please explain
Fresh surface water, including rainwater, water from wetlands, rivers, and lakes	Relevant	1199.25	About the same	この水源からの取水量が重要である理由・1社 抄紙工場で使用 当社の50%以上の取水がこの取水源であり、上水の購入にきりかえるとコストが増加し、また、現状のインフラでは必要とする取水量を同時にまかなうことができない。前年度比：-1.51%・生産数増減に伴う変化・当社の考える前年比較時の閾値 → -30%以上：はるかに少ない → -5%以上 ~ -30%未満：少ない → ±5%未満 ほぼ同じ → 5%以上 ~ 30%未満：多い → 30%以上：はるかに多い
Brackish surface water/Seawater	Not relevant	<Not Applicable>	<Not Applicable>	この水源からの取水量が重要でない理由・使用していない
Groundwater – renewable	Relevant	193.53	Lower	この水源からの取水量が重要である理由・5社で使用(インド、日本)1社は製品の洗浄用 残りは生活水として利用 4社は上水道のない地域で、近隣に川や海等がなく 唯一の取水源である。1社は飲料、手洗いに上水の購入を行いながら 低品質の水として地下水を利用。上水で賄うことはコスト増になる。前年度比：-16.92%・生産数増減に伴う変化・当社の考える前年比較時の閾値 → -30%以上：はるかに少ない → -5%以上 ~ -30%未満：少ない → ±5%未満 ほぼ同じ → 5%以上 ~ 30%未満：多い → 30%以上：はるかに多い
Groundwater – non-renewable	Not relevant	<Not Applicable>	<Not Applicable>	この水源からの取水量が重要でない理由・使用していない
Produced/Entrained water	Not relevant	<Not Applicable>	<Not Applicable>	この水源からの取水量が重要でない理由・使用していない
Third party sources	Relevant	872.78	About the same	この水源からの取水量が重要である理由・上水(市水)と工水して供給 上水はおもに手洗い、トイレ等に 工水はおもに設備の冷却に利用される 取水設備、浄化設備を持たない事業所が多く 主に食堂や手洗いなど非生産活動や冷却に利用している、社員の福利厚生を考えると重要である。前年度比：-3.75%・生産数増減に伴う変化・当社の考える前年比較時の閾値 → -30%以上：はるかに少ない → -5%以上 ~ -30%未満：少ない → ±5%未満 ほぼ同じ → 5%以上 ~ 30%未満：多い → 30%以上：はるかに多い

W1.2i

(W1.2i) Provide total water discharge data by destination.

	Relevance	Volume (megaliters/year)	Comparison with previous reporting year	Please explain
Fresh surface water	Relevant	1371.8	About the same	この水源への排水量が重要である理由・製紙工場を含む4社から排水 最も量の多く、下水道のないエリアを含むため。前年度比：-4.09%・生産数増減に伴う変化・当社の考える前年比較時の閾値 → -30%以上：はるかに少ない → -5%以上 ~ -30%未満：少ない → ±5%未満 ほぼ同じ → 5%以上 ~ 30%未満：多い → 30%以上：はるかに多い
Brackish surface water/seawater	Not relevant	<Not Applicable>	<Not Applicable>	この水源への排水量が重要でない理由・使用していない
Groundwater	Relevant	60.33	Lower	この水源への排水量が重要である理由・5社から排水・インド、メキシコの拠点は 排水処理後、植木へ散水...下水や河川なし・中国の1拠点は下水施設は 備わっているが、水使用量削減 目的で排水処理後の水を 植木へ散水 工場内の緑化のために散水は必須 前年度比：14.29%・生産数増減に伴う変化・当社の考える前年比較時の閾値 → -30%以上：はるかに少ない → -5%以上 ~ -30%未満：少ない → ±5%未満 ほぼ同じ → 5%以上 ~ 30%未満：多い → 30%以上：はるかに多い
Third-party destinations	Relevant	771.82	About the same	この水源への排水量が重要である理由・主だった拠点から下水道へ排水(主に生活排水) 下水道使用料は発生するが、もっともコストパフォーマンスのよい処理方法である・ごく少量で産廃として排水 前年度比：-3.08%・生産数増減に伴う変化・当社の考える前年比較時の閾値 → -30%以上：はるかに少ない → -5%以上 ~ -30%未満：少ない → ±5%未満 ほぼ同じ → 5%以上 ~ 30%未満：多い → 30%以上：はるかに多い

W1.2j

(W1.2j) Within your direct operations, indicate the highest level(s) to which you treat your discharge.

	Relevance of treatment level to discharge	Volume (megaliters/year)	Comparison of treated volume with previous reporting year	% of your sites/facilities/operations this volume applies to	Please explain
Tertiary treatment	Relevant	1712.98	This is our first year of measurement	51-60	・処理レベルの理論的根拠 1.事業活動 金属加工（表面処理・研磨）抄紙（1拠点）2.有害物質 特定有害物質（水濁法（日本）等）もしくは酸・アルカリの使用があり。3.適用される規制 水濁法（日本）および各国、各工業団地で定められた基準値に原則80%を掛けた自主基準 4.その他 ・おもに凝集沈殿法を利用 ・生活排水は別途処理する拠点多い（2次処理もしくは下水放流） ・ 2.有害物質を使用しない拠点(3箇所)を含む 1) 除害設備設置後に下水道が設置されたため 2) 有害物質使用工程の外注化のため 3) 抄紙工程 濁度（SS）除去 特記：抄紙工程では当社グループの50%以上の水をこの工程で使用しています。取水した水よりきれいに浄化し排水を行っています。 ・前年度比：初年度算出 ・今後の変化：生産拠点増などといった大きな変化はない 除くCOVID-19に伴う生産減/回復による生産増） ・水量の変化の定義 はるかに少ない-30%～少ない-5%<x<-30% ほぼ同じ+5% 多い5-30% はるかに多い30%
Secondary treatment	Relevant	202.55	This is our first year of measurement	11-20	・処理レベルの理論的根拠 1.事業活動 手洗い・食堂など非生産活動 2.有害物質 特定有害物質（水濁法（日本）等）の使用はなし 3.適用される規制 水濁法（日本）および各国、各工業団地で定められた基準値に原則80%を掛けた自主基準 4.その他 ・排水先は下水道以外（河川・土壤散水）もしくは排水基準の厳しい工業団地 ・酸・アルカリ等の使用する工程の処理は産業廃棄物もしくは3次処理を実施。本処理の対象は手洗いや食堂など非生産活動に伴う排水である。 ・前年度比：初年度算出 ・今後の変化：生産拠点増などといった大きな変化はない 除くCOVID-19に伴う生産減/回復による生産増） ・水量の変化の定義 はるかに少ない-30%～少ない-5%<x<-30% ほぼ同じ+5% 多い5-30% はるかに多い30%
Primary treatment only	Relevant	2.24	This is our first year of measurement	1-10	・処理レベルの理論的根拠 1.事業活動 下水道に排水している拠点のうち オフィス業務、金属加工、組立業務（排水を伴わないものに限る。但し、産業廃棄物は除く） ・ 1拠点 2.有害物質 特定有害物質（水濁法（日本）等）の使用はなし 3.適用される規制 下水道法（日本）排出基準 4.その他 ・下水道に排出された水は少なくとも行政にて2次処理される ・主に雨水対策である。納入車両からの油漏洩（緊急事故）等に雨水がかかることで油分を含む排水が流れることを防ぐため、油水分離槽を設け、下水に排水している。 ・前年度比：初年度算出 ・今後の変化：生産拠点増などといった大きな変化はない 除くCOVID-19に伴う生産減/回復による生産増） ・水量の変化の定義 はるかに少ない-30%～少ない-5%<x<-30% ほぼ同じ+5% 多い5-30% はるかに多い30%
Discharge to the natural environment without treatment	Not relevant	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	使用無し
Discharge to a third party without treatment	Relevant	286.18	This is our first year of measurement	61-70	・処理レベルの理論的根拠 1.事業活動 下水道に排水している拠点のうち オフィス業務、金属加工、組立業務（排水を伴わないものに限る。但し、産業廃棄物は除く） ・全製造拠点の68%が一部もしくは全部をこちらの区分で排出している。 2.有害物質 特定有害物質（水濁法（日本）等）の使用はなし 3.適用される規制 下水道法（日本）および各国、各工業団地で定められた基準値とする 4.その他 ・下水道に排出された水は少なくとも行政にて2次処理される ・前年度比：初年度算出 ・今後の変化：生産拠点増などといった大きな変化はない 除くCOVID-19に伴う生産減/回復による生産増） ・水量の変化の定義 はるかに少ない-30%～少ない-5%<x<-30% ほぼ同じ+5% 多い5-30% はるかに多い30%
Other	Not relevant	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	使用無し

W1.4

(W1.4) Do you engage with your value chain on water-related issues?

Yes, our suppliers

Yes, our customers or other value chain partners

W1.4a

(W1.4a) What proportion of suppliers do you request to report on their water use, risks and/or management information and what proportion of your procurement spend does this represent?

Row 1

% of suppliers by number

76-100

% of total procurement spend

76-100

Rationale for this coverage

対象：主資材納入先全社 2018年よりBCMの観点から地震、洪水、台風等に関するリスク調査を定期的（年1回 4月）に実施している。対象は事業継続の観点から副資材やその他のサプライヤーとことなり代替の容易でない主資材に対して納入先全社を対象とした。報告いただいた企業には要望に応じて当社の調達および安全、環境の担当者が訪問し、改善へのサポートを実施している 回答企業/送付数 = 193/197

Impact of the engagement and measures of success

要請情報 地震の最大想定震度、ハザードマップ情報（洪水リスク他）、対策情報（複数拠点、在庫、浸水対策）社内での活用 BCMとして、提出された対策情報をもとに複数からの調達にする 重点指導先の絞り込みに利用 評価 リスクと理解して、情報公開していただくことを成果と考え、調査票への回答率 95%以上をもって成果有りとしている

Comment

W1.4b

(W1.4b) Provide details of any other water-related supplier engagement activity.

Type of engagement

Onboarding & compliance

Details of engagement

Requirement to set and meet minimum standards for treatment of discharge

Other, please specify (サプライヤーに望む水管理は、自社での排水基準等の順守、水資源等の削減であり、グリーン調達ガイドラインを通して依頼。同様に活動をサプライチェーンに広げることを依頼している。また当社の敷地内に製品を納入するサプライヤーについては、納入車両からの油漏れ事故管理が最大の課題となっており、全サプライヤーに対して説明会を実施し、該当時には通報を呼びかけている)

% of suppliers by number

1-25

% of total procurement spend

1-25

Rationale for the coverage of your engagement

株式会社エクセディではグリーン調達を発行し、説明会を行っている。その中で、事故事例等を紹介し、公害防止の取組みや水資源の削減をお願いしている。2021年度はコロナ禍であることを加味し、説明内容をビデオ化し、オンラインで閲覧いただけるように取り組んでいる。対象範囲の根拠はグリーン調達ガイドライン送付・説明会はほぼ100%に実施しているが、グループ全体に案分した結果で算出

Impact of the engagement and measures of success

サプライヤーからの質問事項・依頼事項に対する回答率 100% (昨年実績では納入車両からの油漏れ時の緊急時対応方法、備品の問い合わせ 実績1件/1件) 納入車両による漏洩事故ゼロ 昨年度の実績 ゼロ

Comment

W1.4c

(W1.4c) What is your organization's rationale and strategy for prioritizing engagements with customers or other partners in its value chain?

EXEDYグループではグループ企業のうち、一社で製紙工程を除き原則的に大量の水を必要としない。主な用途は社員食堂やトイレ、手洗いなどで非生産活動や冷却に使用することが多い。

水の使用量削減には長年取り組んでおり、使用量削減よりも公害防止に重点を置いた

また

エンゲージ先：顧客

エンゲージ根拠：

顧客グリーン調達ガイドラインでは、事業活動における環境法令の順守や水を含む省資源対策が求められており、

当社のサプライヤーへの同等の要請と教育が求められている。

当社でもグリーン調達説明会を開催し、サプライヤーへの依頼や法順守、省資源活動の情報提供を通じて

削減に取り組んでいる。またCDPを通じた情報開示が求められている。

また一部の顧客では環境事故時の報告義務を課している

方法と戦略

・ 環境等の情報開示については費用対効果が非常に見えづらいものである。顧客からの要求があるということは、当社にとってもよい外圧になり、情報収集の精度向上、情報開示の範囲拡大につながっている

エンゲージメントの評価方法

・ 所要なお取引様グループ23グループのうち3グループに対して、CDPにてエネルギー、水、廃棄物等の使用量などの情報提供を実施している。

顧客数に対する割合は3/23である。成功の評価は期日までの回答率とする。CDPによる回答は昨年度期日までに回答済(100%)

・ 環境事故報告事例 ゼロであること。(報告年実績ゼロ)

W2. Business impacts

W2.1

(W2.1) Has your organization experienced any detrimental water-related impacts?

Yes

W2.1a

(W2.1a) Describe the water-related detrimental impacts experienced by your organization, your response, and the total financial impact.

Country/Area & River basin

Japan	Yodo
-------	------

Type of impact driver & Primary impact driver

Physical	Inadequate infrastructure
----------	---------------------------

Primary impact

Reduction or disruption in production capacity

Description of impact

主な影響 2012年8月に集中豪雨により、本社工場(日本 大阪府寝屋川市)周辺に下水道の容量オーバーのため、内水氾濫し、膝上浸水した。次のような影響があった。
・生産設備、製品への影響(被害額約4.5千万円) ・工場内の排水実施 ・排水完了までの一時的な操業停止 影響の規模 夏季休暇で生産を停めていたため、生産への影響は少なく、重大な影響の定義に該当はしないが、発生が夏季休暇中であれば、重大な影響となった可能性が高い

Primary response

Develop flood emergency plans

Total financial impact

44598000

Description of response

対応戦略 一次的な対応として、休暇明けからの生産稼働体制の確保を最優先に 工場からの浸入した水の抜き取り、故障した設備の修理を実施。財務上の影響額は2012年時の対応費の実費である。(内訳:設備購入、修理費用、排水/汚泥の廃棄物処理費用) 恒久的な対応として、次の項目を実施 本社工場のハザードマップでは地震による津波の影響はなく、洪水による浸水(~50cm)であり、次の対策を設け、浸水に備えそれぞれの生産設備に洪水時対応訓練を実施している。 ・屋外の貯油施設(地下)に対して投入口の嵩上げ(1m) ・すべての工場への浸水対策品の設置(土嚢、ウォーターゲート:簡易止水壁 ひざ下程度の水の侵入防止) ・雨水用の排水管の洗浄作業実施 ・敷地外部からの水流入対策

W2.2

(W2.2) In the reporting year, was your organization subject to any fines, enforcement orders, and/or other penalties for water-related regulatory violations?

No

W3. Procedures

W3.3

(W3.3) Does your organization undertake a water-related risk assessment?

Yes, water-related risks are assessed

W3.3a

(W3.3a) Select the options that best describe your procedures for identifying and assessing water-related risks.

Direct operations

Coverage

Full

Risk assessment procedure

Water risks are assessed in an environmental risk assessment

Frequency of assessment

More than once a year

How far into the future are risks considered?

More than 6 years

Type of tools and methods used

Tools on the market

International methodologies

Tools and methods used

WRI Aqueduct

IPCC Climate Change Projections

Other, please specify (各拠点のハザードマップ)

Comment

Supply chain

Coverage

Partial

Risk assessment procedure

Water risks are assessed as a standalone issue

Frequency of assessment

Annually

How far into the future are risks considered?

1 to 3 years

Type of tools and methods used

Other

Tools and methods used

Internal company methods

External consultants

Other, please specify (各拠点のハザードマップ、ヒアリング)

Comment

Other stages of the value chain

Coverage

None

Risk assessment procedure

<Not Applicable>

Frequency of assessment

<Not Applicable>

How far into the future are risks considered?

<Not Applicable>

Type of tools and methods used

<Not Applicable>

Tools and methods used

<Not Applicable>

Comment

W3.3b

(W3.3b) Which of the following contextual issues are considered in your organization's water-related risk assessments?

	Relevance & inclusion	Please explain
Water availability at a basin/catchment level	Relevant, always included	当社グループでは、1拠点で水を用いて製紙を行っており一定の水量確保は必須である。また、数拠点上水道がなく、地下水をくみ上げて生産だけでなく生活用水とする拠点もある。評価にはaqueductを利用 年1回調査 Baseline/2030/2040Water Stress 水関係リスク問題の評価 Baseline、2030/2040年のWater StressはLow 地域でのヒアリングでも水枯渇リスクはないとの結果
Water quality at a basin/catchment level	Relevant, always included	当社グループでは、主だった拠点は上水道もしくは工業用水を利用しており、排水は下水道という言う拠が多いが、1拠点で水を取水する拠点があり、河川へ排水する拠点は数拠点存在する。取水に関しては高い水質を求めているが、pHや懸濁具合等を調整している。評価には実測値を利用 取水基準：生産に使用できないことがゼロであること 排水基準：自主基準超過件数 ゼロのこと 水関係リスク問題の評価 報告年度 該当なし
Stakeholder conflicts concerning water resources at a basin/catchment level	Relevant, always included	当社グループでは、主だった拠点は上水道もしくは工業用水を利用しており、排水は下水道という言う拠が多いが、一部の拠点で次のような拠点があり、・地域住民が地下水を生活用水として利用する ・排水先の河川に漁業権がある ・排水先の河川から農業用水を取水している 量に関しては対立するステークホルダーはいないが、水の質に関してはステークホルダーの評価に注意を払わなければならない。持続的な操業を行うためにも地域住民との関係は必ず評価している。(現時点で特記すべきに該当はなし) 評価は 各拠点での苦情件数 年1回調査 水関係リスク問題の評価 報告年度 該当なし
Implications of water on your key commodities/raw materials	Relevant, sometimes included	当社の製品は鉄製品であり、主な工程はその加工と組み立てである。一部の水を使う拠点は、個別に評価している。当社のサプライチェーンの原材料の製鉄に於いては冷却に非常に多くの水を使用している。評価は社内ツール：社内基準(環境影響評価規程)に基づき当該項目を 当社の受ける影響量をもとに評価 現時点では本設問の他のカテゴリーに含まれるものを除いて 対象なし。評価は規制等の変更に伴い水リスクの高まる事案の有無 水関係リスク問題の評価 報告年度 該当なし
Water-related regulatory frameworks	Relevant, always included	国、地域、工業団地、地域住民との協定など、常に最新の情報を管理している 評価は社内ツール：社内基準(環境情報管理規程)に基づき当該情報を 当社の受ける影響量をもとに評価 現時点では本設問の他のカテゴリーに含まれるものを除いて 対象なし。評価は規制等の変更に伴い水リスクの高まる事案の有無 水関係リスク問題の評価 報告年度 該当なし
Status of ecosystems and habitats	Relevant, always included	主だった拠点での製造工の排水は原則産業廃棄物もしくは排水処理を通して下水道に放流しているが、一部の拠点では河川に放流している。漁業権のある河川や、ラムサール条約にて保護されている湿原近隣にあるため、近隣の状態の把握と排水管理・緊急事故の未然防止に力を入れている 評価方法は 排水の自主管理値超過件数 水関係リスク問題の評価 報告年度 該当なし
Access to fully-functioning, safely managed WASH services for all employees	Relevant, always included	水の質及び量の確保でハイリスクな拠点としてインドの拠点があげられるが、敷地内に水飲み場を設置し、敷地内に浄化設備を導入することで、食堂、水洗のトイレを設置し、全従業員が適切に管理された衛生施設を利用できることを担保している。評価方法は監査員が訪問(年1回以上)し現地で確認 評価方法は 監査報告による改善案件の有無 ※COVID19により2020年は訪問ができなかったが、現地駐在員への ヒアリングにより評価 水関係リスク問題の評価 報告年度 該当なし
Other contextual issues, please specify	Not relevant, explanation provided	関連する項目は上記に含まれるため。将来的にも上記で回答できると考えており、関連性はない。

W3.3c

(W3.3c) Which of the following stakeholders are considered in your organization's water-related risk assessments?

	Relevance & inclusion	Please explain
Customers	Relevant, always included	・ステークホルダーについて グリーン調達による排水基準順守・省資源化の要求がある。→対応しないことにより、顧客を失う恐れがある CDP Water 他水の管理に対する情報開示要求を行うメーカーがある ・エンゲージ方法 水質事故事例のグローバルでの瞬時の情報共有・開示の実施 HP上での当社の水資源量、事故事例等の情報開示 顧客の情報開示要求への対応
Employees	Relevant, always included	・ステークホルダーについて 大規模な洪水リスクに関しては従業員の命にかかわるかが第一優先になる。(2020年12月に移転した京都子会社の例) 水害の際は通勤が困難になる。緊急時の生活用水の備蓄が必要 湧水エリア(インド)では飲料水の調達が困難になったケースもある ・エンゲージ方法 洪水に関してはハザードマップに基づきリスク評価、安全な労働環境確保に 務める。 湧水事例に関しては複数の水供給と契約し飲料水の確保を実施
Investors	Relevant, always included	・ステークホルダーについて CDPやFTSEなど投資家が重要視する項目を順守することでESG指標入りが可能になる。(2021.06 FTSE Blossom Japan銘柄に選定) ESGの強化により、ESG投資の対象となる ・エンゲージ方法 CDPやFTSEに重点を置いた情報開示の推進
Local communities	Relevant, always included	・ステークホルダーについて 近隣に漁業権を持つ河川がある 地下水を生活用水に使用する地域が近隣にある ・エンゲージ方法 排水基準に自主基準を設けた管理の実施 夏祭りや地域貢献を通して日頃からコミュニケーションを強化する
NGOs	Relevant, sometimes included	・ステークホルダーについて 水の使用量、排水の水への与える影響は過去の事故がおおむねなかったことも 踏まえて当社の生産活動に対してNGOは直接的なステークホルダーではないが、「よき企業市民」として取り組む生物多様性保護の活動、拠点を持つ近隣の河川 美化活動、保護活動にNGOと共に活動を行っている ・エンゲージ方法 河川美化、保護活動の支援 →グリーンリバー活動、地域清掃活動への従業員派遣 →地域の親水活動への金銭的な支援、従業員の派遣
Other water users at a basin/catchment level	Relevant, sometimes included	・ステークホルダーについて 当社の製品サービスは鉄製品の加工、組立であり、他の水利用者を脅かすような 大量の取水・有害な排水等はなく、該当する事例がないが、潜在的なステークホルダーとして(1拠点を大量に使用する拠点があるが、この例外については、流域に十分な水があり、取水時の品質よりきれいに排水を行っている) ・エンゲージ方法 新しいステークホルダーの有無確認 排水基準に自主基準を設けた管理の実施
Regulators	Relevant, always included	・ステークホルダーについて 排水基準の順守の必要があり、中国など一部の規制が厳しいエリアでは規制をクリアしなければ 罰金や操業停止のリスクがある(下水、雨水、河川放流、地下水) ・エンゲージ方法 排水基準に自主基準を設けた管理の実施 規制の動向調査
River basin management authorities	Relevant, always included	・ステークホルダーについて 排水基準の順守のため(雨水、河川放流) ・エンゲージ方法 排水基準に自主基準を設けた管理の実施 規制の動向調査
Statutory special interest groups at a local level	Relevant, always included	・ステークホルダーについて 一拠点で地下水を利用し、上水と比較し、安価な水を共有する会社を利用している ・エンゲージ方法 必要量を安定供給ができるかを確認
Suppliers	Relevant, always included	・ステークホルダーについて グリーン調達を通じて水の省資源、排水の法規制順守を依頼している。水害等によるサプライチェーンの停止リスクがある ・エンゲージ方法 水事故に関しては当社への報告を決まりとしている。水害によるサプライチェーンリスクは年1回ハザードマップによる 調査を実施し、リスク低減対策、複数箇所からの納入を指導
Water utilities at a local level	Relevant, always included	・ステークホルダーについて 原則的に水道からの水は安定共有されており、リスクとしての認識はしていないが 一拠点では工業用水の使用量が地域で最も多いため、当社の使用量が極端に変化する 場合は、地域の水供給の安定化のため、事前に調整が必要である またインドの拠点は湧水のため水供給が滞った事例がある。 ・エンゲージ方法 工業用水については設備の変更時に事前に水道業者に確認する仕組みを導入。 湧水エリア(インド)については複数から購入や水が入りできない際の飲料水確保のため、RO膜を使用した浄化設備を導入し従業員への飲み水を確保している
Other stakeholder, please specify	Not relevant, explanation provided	・ステークホルダーについて 当社が関連すると規定するステークホルダーは上記に含まれるため。 今後も変更なしの予定 ・エンゲージ方法 同上

(W3.3d) Describe your organization's process for identifying, assessing, and responding to water-related risks within your direct operations and other stages of your value chain.

当社の水に関するリスクと機会の特定・評価・管理プロセスは次の複数システムで運用されている

①気候変動のリスクと機会に関する各システムの主な役割と管理母体

- ・EMS（環境マネジメントシステム：ISO14001）---マネジメントレビュー、EGC委員会
 - ・特定プロセス
 - ESG動向（法改正（含む 条例、覚書）投資家・顧客ニーズ）
 - ・管理プロセス
 - 測定・評価・記録の保存
- ・BCM(事業継続マネジメント) ---リスク委員会
 - ・特定プロセス
 - ・ハザードマップ（当社拠点）
- ・統合プロセス（市場動向、開発、設備投資、サプライヤー管理他）--経営会議

②重大な財務上または戦略上の影響があるかを特定するプロセス

当社の判断は原則 W4.1 b のに基準に従う。

こちらは取締役会議案を決定する経営会議での審議事項である

- ・人命にかかわる可能性があるもの
- ・社の製品がその時代のニーズから適応しない可能性があるもの
- ・生産停滞/操業停止を引き起こす可能性があるもの
- ・一定以上のコストを発生させる可能性があるもの

基準に満たないものはEMS、BCM、その他のプロセスで継続し管理

基準に該当するものについては取締役会にて管理を行う

③直接操業の水リスク

③ - 1：資源の枯渇

- ・EMSでは各拠点の水リスクとAquaductにて確認（全社事務局 年1回4月）
- 確認項目は現在の水リスク、2030年、2040年の水リスク

③ - 2：水質

- ・EMSでは各拠点から環境指標および異常の有無を確認。（毎月）
- 水質の測定データは（年1回4月）エビデンスとしてPDFを入手
- ・水質の評価に関しては各国、各工業団地で排出規制がある場合は原則×80%で自主規制を設け
各拠点で管理。NG時は全社事務局へ報告
- ・基準がないものについては事故なきよう管理

③ - 3：洪水

- ・BCM 各拠点はハザードマップ、河川事務許等からハザード情報を更新する（年1回 4月）
- ・リスクのレベルに応じてその影響が重大とならないものは各拠点、重大となるものは取締役会で管理を行う

④ サプライチェーンの水リスク

④-1：全般（資源枯渇・水質）

- ・取引を行う際に、環境全般のアンケートを調達部門にて実施している。
- 一定の基準に満たない企業については直接訪問し、リスクの有無を検討し、リスクの高い場合は取引を見合わせ
- ・グリーン調達ガイドラインにて水リスクの把握および軽減を依頼

④-2：洪水

- ・主資材の全協力企業に対し、BCMの一環として、2018年よりハザードマップをもとにリスク評価し、全サプライヤーへ調査票を配布
- ・洪水等に関する対策確認を実施。
 - 高リスクサプライヤーには浸水対策、もしくは対応できない場合には十分な在庫の確保を要請し、対応状況を定期的に確認
 - 地震と同様に、即座に情報が収集できる仕組みとして緊急事態の連絡システムを導入。

W4. Risks and opportunities

W4.1

(W4.1) Have you identified any inherent water-related risks with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business?

Yes, only within our direct operations

W4.1a

(W4.1a) How does your organization define substantive financial or strategic impact on your business?

< 重大な財務上または戦略上の影響の定義 >

当社の考え方で、「安全・環境⇒品質⇒納期⇒コスト」という考え方がある。

この順番を最優先と考え、取組むことが最終的にもっともコストが下がるとの考え方である。

重大影響については一部定性的ではあるが、次のように定義している。

① 人命にかかわる可能性があるもの

→ 重大災害※：ゼロ

※ 重大災害とは死亡、障害等級7級以上の災害とする

② 当社の製品がその時代のニーズから適応しない可能性があるもの

（生産に法的制約が加わるなど）

→ 指標は①③④参照

③ 生産停滞/操業停止を引き起こす可能性があるもの

→ 操業停止日数：5日以上

④ 一定以上のコストを発生させる可能性があるもの

→ コスト：1件 1億円以上の支出を伴う事項

その中で操業停止となるものとは次のようなケースを想定している

- ・洪水等による生産設備の損傷
- ・洪水等により操業停止となる
- ・顧客のサプライチェーン障害による受注の減少
- ・サプライチェーン障害による部品供給停止
- ・排水基準超過による当局による操業停止命令
- ・取水設備の故障等により操業に必要な十分な水が確保できない

< 実質的な変化の特定に使用する方法、測定基準、指標 >

- ・排水基準超過件数、排水の自主基準超過件数の有無

< 実質的な変化を示す変化量 >

- ・上記の変化を示す変化量は1以上とする。

< 重大の定義は直接操業およびサプライチェーンに適用される >

< 重要な影響の事例 >

- ・日本にある生産拠点の一つは洪水リスクがあり、人命にかかわり、操業停止リスクがあり、また浸水時には一定以上のコストを発生させる可能性があり、2018年に移転を決定、2020年度移転完了

当社のリスク管理プロセス

近年温暖化に伴う100年に一度等の洪水など災害が激化している。

当社の拠点の中にも過去に浸水した拠点があり、洪水対策が必要な拠点や移転を要する拠点が存在する。

このような物理のリスク・機会の基本情報は、複数のプロセスにより収集される

- ・ BCM

拠点ごとのハザードマップ

協力企業アンケート

- ・ ISO14001の最上位文書「環境管理規程（下記参照）」に従った手法。

（IPCC報告書 Aqueduct Water Risk等）

当社では特定したされたリスクの評価は、人命への影響、生産（操業）へ影響、財務上の支出（損害額、修理額）の規模に応じた

会議体（取締役会、経営会議、リスク管理委員会、BCM、EGC委員会等 注記：全ての会議メンバーは取締役を含む）にて、

それぞれの定めた規定を基に影響を評価している

短期、中期的な気候関連の物理的なリスクと機会（例えば水害等のハザード情報）についてはBCPに基づき、影響の大きさを評価し、

経営会議B（取締役会に付議されるもの以外の重要な事項を審議・決定・報告する機関。社長、常勤取締役、執行役員及び常勤監査役をもって構成する）

のもと、中期経営計画「Evolution」を立案し、情報収集と評価、対応を実施している

・直接操業

→各製造拠点毎の気候変動リスクについては、ハザードマップ、周辺地域でのヒアリング等を元に

各拠点毎に情報を収集、評価を行う

→・拠点ごとのリスクに応じ対応：拠点の移転、設備の更新（止水壁、排水ポンプの設置、レイアウト変更等）、

緊急事態対応訓練の実施

・サプライヤー管理

→協力企業についてはアンケートにてリスク情報収集、評価を行い、

複数の製造拠点を持つ企業への転注、複数の企業へ発注するなどリスク対応を実施

中期、長期的な気候関連の物理的なリスクと機会は環境管理規程に従い、影響の大きさを評価し、EGC委員会（W6.2a参照）のもと、運用管理もしくは、環境マネジメントプログラム（EMP）を立案し、全社環境管理部門が主管となり情報収集と評価、対応を実施している

※※「環境管理規程」に基づくリスクと機会の管理※※

・情報収集：各拠点及びISO 14001の全社事務局経由集められた情報は、

全社環境統括責任者（環境担当取締役 W6.2a参照）に集約される。

定期更新 年1回。法改正やステークホルダーのニーズ更新時は逐次更新

・収集されたリスクや機会は基準に基づいて1次評価を行い、全社事務局と全社環境統括責任者と協議の上
評価を行う。

・重要と判定したもの、過去に重要と判定したもので、判定を変更するものについては
EGC委員会（W6.2a参照）で報告を行う。

・重要と判定したもののについては、各拠点で定めた目標管理もしくは運用管理に従い管理を行う。

・目標管理状況、運用管理状況は毎月の定例報告にて進捗管理を行う

W4.1b

(W4.1b) What is the total number of facilities exposed to water risks with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business, and what proportion of your company-wide facilities does this represent?

	Total number of facilities exposed to water risk	% company-wide facilities this represents	Comment
Row 1	4	1-25	4拠点/25拠点

W4.1c

(W4.1c) By river basin, what is the number and proportion of facilities exposed to water risks that could have a substantive financial or strategic impact on your business, and what is the potential business impact associated with those facilities?

Country/Area & River basin

Japan	Yodo
-------	------

Number of facilities exposed to water risk

1

% company-wide facilities this represents

1-25

Production value for the metals & mining activities associated with these facilities

<Not Applicable>

% company's annual electricity generation that could be affected by these facilities

<Not Applicable>

% company's global oil & gas production volume that could be affected by these facilities

<Not Applicable>

% company's total global revenue that could be affected

1-10

Comment

淀川およびその支流の洪水による浸水

Country/Area & River basin

Japan	Other, please specify (安平川 (北海道))
-------	-----------------------------------

Number of facilities exposed to water risk

1

% company-wide facilities this represents

1-25

Production value for the metals & mining activities associated with these facilities

<Not Applicable>

% company's annual electricity generation that could be affected by these facilities

<Not Applicable>

% company's global oil & gas production volume that could be affected by these facilities

<Not Applicable>

% company's total global revenue that could be affected

11-20

Comment

該当拠点は水の豊富で大量の川を安価で取水できるエリアである。単位時間当たりの取水量が大きいため、取水が停止すると上水で補うことはできず操業が止まるリスクがある。(過去川の取水システムのトラブルで事例があったが設備更新後 直近20年程度で事例無し)

Country/Area & River basin

Thailand	Other, please specify (Bang Pakong 川)
----------	---------------------------------------

Number of facilities exposed to water risk

2

% company-wide facilities this represents

1-25

Production value for the metals & mining activities associated with these facilities

<Not Applicable>

% company's annual electricity generation that could be affected by these facilities

<Not Applicable>

% company's global oil & gas production volume that could be affected by these facilities

<Not Applicable>

% company's total global revenue that could be affected

1-10

Comment

チョンブリー地域の洪水による浸水

W4.2

(W4.2) Provide details of identified risks in your direct operations with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business, and your response to those risks.

Country/Area & River basin

Japan	Yodo
-------	------

Type of risk & Primary risk driver

Physical	Flooding
----------	----------

Primary potential impact

Reduction in capital availability

Company-specific description

<異常気象による生産拠点の浸水・生産停止リスク> 京都子会社は日本を代表する流域面積（全面積の3%）、流域人口(全国7位)をもつ一級河川・淀川水系の支流である木津川の中流域に位置している。河川整備計画によると人口の集中する下流の治水安全度を確保するために、上中流が氾濫していることが前提となっており、氾濫のおきる確率規模は20年に1度となっている。（戦後最大の洪水 昭和28年台風13号想定）さらに当該拠点は本流と支流に囲まれた中洲に位置しており、巨大豪雨等で河川が氾濫した場合には支流の樋門を閉じること、上流でのダム放流の可能性があるので知られている（決壊を防ぐため、行政による排水ポンプ車で樋門越しに排水を本流に逃がす仕組み）浸水しかかった事例がある。巨大豪雨やゲリラ豪雨により浸水し、生産停止が予想される

Timeframe

4-6 years

Magnitude of potential impact

High

Likelihood

Virtually certain

Are you able to provide a potential financial impact figure?

Yes, a single figure estimate

Potential financial impact figure (currency)

330082191

Potential financial impact figure - minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure - maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact

影響として、京都子会社の復興にかかる費用と、部品の共有がとまることにより、当社の生産がとまることの二つが上げられる。生産拠点の復興にかかる費用について情報公開ができないため、ここでは1回あたりの浸水により一部の部品調達に停止することに伴う当社の売上高の減少額を算出する。2020年度単体売上（1,004億円）×当該拠点の製品分野売上(24%)×操業停止期間BCP目標5日（5/365）

Primary response to risk

Re-site facilities

Description of response

ハザードマップによるリスク評価の結果・洪水によって想定される浸水深 3 ~ 5 m（想定最大規模）・地形からわかる災害リスク：旧河道 人命にかかわり、操業停止リスクがあり、また浸水時には一定以上のコストを発生させる可能性があり、2018年取締役会で操業困難として移転が決定。2018年度から"生産拠点移転"を着手 2020年12月に移転完了し、浸水によるリスクは解消された。

Cost of response

326000000

Explanation of cost of response

リスク対応費用は設備投資費用で算出する。2020年度実績：連結その他費用：63.3億円 生産拠点移転費用：3.3億円・新工場建設費44億円は資本支出であり、移設工事費用3.3億円をリスク対応費用として計上する。

Country/Area & River basin

Japan	Other, please specify (安平川 (北海道))
-------	-----------------------------------

Type of risk & Primary risk driver

Physical	Increased water scarcity
----------	--------------------------

Primary potential impact

Reduction or disruption in production capacity

Company-specific description

当該拠点は抄紙工程をもつ。（当社グループ取水の50%以上はこちらの工場である）水の豊富で大量の水を川から工業用水として安価で購入できるエリアである。単位時間あたりの取水量が大きいため、取水が停止すると上水で補うことができず、操業が止まるリスクがある。（過去、川の取水システムのトラブルで事故が発生したが、設備更新後直近20年程度では該当事例の再発はなし）

Timeframe

More than 6 years

Magnitude of potential impact

Medium-high

Likelihood

Unlikely

Are you able to provide a potential financial impact figure?

Yes, a single figure estimate

Potential financial impact figure (currency)

493294097

Potential financial impact figure - minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure - maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact

設備を設置後20年間停止した実例がないこと。また取水のトラブルに備え製品在庫を2～3日分確保していることから、万が一水の供給が停止してもこの期間に復旧すれば工程に影響を及ぼさないが、万一取水が停止した場合の影響として、ここでは1回あたり断水により一部の部品調達が停止することに伴う当社の売上高の減少額を算出する。2020年度当該拠点売上(360.10億円)×当該拠点の製品分野売上(100%)×操業停止期間BCP目標5日(5/365)4.93億円

Primary response to risk

Adopt water efficiency, water reuse, recycling and conservation practices

Description of response

現在リスク対応としてリサイクルシステムを2018年1月から稼働させ、約30%の水を再利用している。

Cost of response

3000000

Explanation of cost of response

設備投資額 約200万円、運用費用額 300万円/年 算出方法は年平均の実額

Country/Area & River basin

Thailand	Other, please specify (Bang Pakong)
----------	-------------------------------------

Type of risk & Primary risk driver

Physical	Flooding
----------	----------

Primary potential impact

Reduction or disruption in production capacity

Company-specific description

2012年に大規模な洪水の影響を受けたチョンブリー地域の近隣に当社のグループ拠点が2拠点あり、洪水による設備の損傷、生産停止リスクがある

Timeframe

Unknown

Magnitude of potential impact

Medium

Likelihood

Likely

Are you able to provide a potential financial impact figure?

Yes, a single figure estimate

Potential financial impact figure (currency)

292664207

Potential financial impact figure - minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure - maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact

工場浸水による間接的な生産停止の可能性がある。・顧客もしくは顧客のサプライチェーンの分断により生産停止を余儀なくされる可能性がある 被害金額は5日の操業停止として算出 2020年度当該拠点売上合計(213.64億円)×当該拠点の製品分野売上(100%)×操業停止期間BCP目標5日(5/365)

Primary response to risk

Improve maintenance of infrastructure

Description of response

生産拠点分散(中国、インドなど)・浸水対策として、緊急対策計画、訓練の他に、次のインフラ整備を行っている・止水壁の設置・工場周辺に溝を掘り、排水ポンプを設置・生産棟の高上げを行い、生産設備を2F以上に設置(設置済)

Cost of response

1812000

Explanation of cost of response

追加費用は一年間の緊急訓練に係わる人件費で算出

W4.2c

(W4.2c) Why does your organization not consider itself exposed to water risks in its value chain (beyond direct operations) with the potential to have a substantive financial or strategic impact?

	Primary reason	Please explain
Row 1	Risks exist, but no substantive impact anticipated	・自動車業界は部品数が多いため、自社のリスク対応を行っていても、当社もしくは顧客のサプライチェーンが破綻することで生産が滞るケースが実際に生じたこともある。・自社サプライチェーンについてはBCMの観点から2018年度より洪水に関するリスク評価を全サプライヤーに対し開始。年1回継続し調査をおこなっており、リスクの高いサプライヤーについてはリスクレベルの異なる複数の拠点からの納入、操業停止に備えての2～3日分の在庫確保を依頼。また、他のエリアで代替生産を行うため複数の調達先を確保している。2020年度の調査結果からは、重大な影響はないと判断している。

W4.3

(W4.3) Have you identified any water-related opportunities with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business?

Yes, we have identified opportunities, and some/all are being realized

W4.3a

(W4.3a) Provide details of opportunities currently being realized that could have a substantive financial or strategic impact on your business.

Type of opportunity

Markets

Primary water-related opportunity

Improved community relations

Company-specific description & strategy to realize opportunity

当社の水への考え方は基本的に水負荷の低い事業と考えている。抄紙工程を持つ1社を除いて原則手洗いや食堂など非生産活動が主な用途である。また、当社の取水の50%以上を占める抄紙工程では紙をほぐすために利用しており水質を悪化させることなく、排水処理を通すことで工程で使用した水をほぼ同量を水質を改善した状態で水源に戻している。以上のことから当社の水への考え方は公害防止、事故防止に重点が置かれている。戦略 当社の企業理念『喜びの創造』は次の通りである。人の良心と未来への希望をもって、社会の喜びを創造しよう 高い技術とこまやかな対応をつうじて、お客様の喜びを創造しよう 誇りある仕事と自己成長をつうじて、私たちの喜びを創造しよう 社会の喜びを創造し、会社方針「よき企業市民」として地域の方に愛され操業をつづける会社としてレジリエンスを高めるために、地域住民も対象とした夏祭りの開催、地域の保全活動、清掃活動への従業員の参加および金銭的なサポートを行っている。活動事例 大阪府寝屋川市にある本社工場は、市の名前に「川」がつく市に位置し寝屋川市は以前は汚いどぶ川で有名であったこの川の美化に市をあげて取組んでいる。また、寝屋川市にも企業はたくさんあるものの、本社を寝屋川市に置き、税収の上位の企業となっている。主だった川に関する活動は次の通り ※2020年度はコロナのため一部活動が中止されている。・クリーンリバー活動(5月、11月)寝屋川市、NGO、地域の学生と協働し 主要な河川の清掃、草刈りを実施 ・クリーンキャンペーン(10月)当社周辺の広域清掃活動。従業員の家族(子女)への環境教育の場でもある。・淀川：点野水辺プロジェクト2018年より開始。本社工場から北西に4km 淀川新橋の下流にある点野のエリアで国交省淀川河川事務所、NGO、近隣の大学、高専、高校とともに活動をおこなっている。水辺に親しむエリアにするための大規模整備計画に伴い、地域に本社をもつ唯一の大企業としてプロジェクトに参加。(第1次2021年04月整備工事完了)産官学連携で次のような活動を行っている ワークショップ、「淀川まるごと体験会」「茨田いちょう祭り」の参加、協賛、草刈り、特定外来生物のアレチウリやナガツルノゲイトウの駆除活動への参加 毎年夏に、「淀川まるごと体験会」を開催し、カヌーやEボート、SUPなどの体験や草笛、草玉作成、魚釣りなど小学生から中学生向けに、水に親しむイベントを実施。当社では熱中症対策の支援(飲料、塩飴、氷、うちわ等の無償提供、テント、AED、担架等の貸し出し)と子供たち向けのごみの分別や当社の実際の排水を利用した排水処理を学ぶブースを設置し参加しています。秋には規模を縮小したイベント、茨田イチョウ祭りも開催しています。

Estimated timeframe for realization

More than 6 years

Magnitude of potential financial impact

Low

Are you able to provide a potential financial impact figure?

Yes, a single figure estimate

Potential financial impact figure (currency)

315041

Potential financial impact figure – minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact

当社の製品はB to Bの製品のため、地域への貢献が顧客拡大には直接結びつかないが、幼少のころから当社の地道な環境を見て、体験してすることで将来的に当社を就職先に考える可能性がある。また従業員の家族の参加できるイベントであり、家族からも愛される会社として従業員の離職率を下げる効果があると考え 費用は2020年度新卒の採用に関わる1人あたりの募集費用を影響として算出した

W5. Facility-level water accounting

W5.1

(W5.1) For each facility referenced in W4.1c, provide coordinates, water accounting data, and a comparison with the previous reporting year.

Facility reference number

Facility 1

Facility name (optional)

DNX-T

Country/Area & River basin

Japan	Other, please specify (安平川 (北海道))
-------	-----------------------------------

Latitude

42.680448

Longitude

141.740104

Located in area with water stress

No

Primary power generation source for your electricity generation at this facility

<Not Applicable>

Oil & gas sector business division

<Not Applicable>

Total water withdrawals at this facility (megaliters/year)

1289.66

Comparison of total withdrawals with previous reporting year

About the same

Withdrawals from fresh surface water, including rainwater, water from wetlands, rivers and lakes

1199.25

Withdrawals from brackish surface water/seawater

0

Withdrawals from groundwater - renewable

41.69

Withdrawals from groundwater - non-renewable

0

Withdrawals from produced/entrained water

0

Withdrawals from third party sources

48.72

Total water discharges at this facility (megaliters/year)

1286.66

Comparison of total discharges with previous reporting year

About the same

Discharges to fresh surface water

1199.25

Discharges to brackish surface water/seawater

0

Discharges to groundwater

3

Discharges to third party destinations

84.4

Total water consumption at this facility (megaliters/year)

3

Comparison of total consumption with previous reporting year

About the same

Please explain

・位置座標について → 近接する2工場の集合体である。 ・集約方法は会社単位 (全2工場) ・座標は淡水の地表水を用いる工場の座標である。 ・水ストレス値の判断 Aqueeductの現時点での水ストレス「Baseline water stress」Midium以上とする ・当社の考える前年比較時の閾値 → -30%以上 : はるかに少ない → -5%以上 ~ -30%未満 : 少ない → ±5 & 未満 ほぼ同じ → 5%以上 ~ 30%未満 : 多い → 30%以上 : はるかに多い ・水源 : 河川 (工業団地から工業用水として購入) ・第三者の排水先 : 下水道 ・水の消費量 計算により取水量—排水量で算出

Facility reference number

Facility 2

Facility name (optional)

EXK

Country/Area & River basin

Japan	Yodo
-------	------

Latitude

34.737145

Longitude

135.82006

Located in area with water stress

No

Primary power generation source for your electricity generation at this facility

<Not Applicable>

Oil & gas sector business division

<Not Applicable>

Total water withdrawals at this facility (megaliters/year)

2.7

Comparison of total withdrawals with previous reporting year

Lower

Withdrawals from fresh surface water, including rainwater, water from wetlands, rivers and lakes

0

Withdrawals from brackish surface water/seawater

0

Withdrawals from groundwater - renewable

0

Withdrawals from groundwater - non-renewable

0

Withdrawals from produced/entrained water

0

Withdrawals from third party sources

2.7

Total water discharges at this facility (megaliters/year)

2.4

Comparison of total discharges with previous reporting year

Lower

Discharges to fresh surface water

2.4

Discharges to brackish surface water/seawater

0

Discharges to groundwater

0.3

Discharges to third party destinations

0

Total water consumption at this facility (megaliters/year)

0

Comparison of total consumption with previous reporting year

This is our first year of measurement

Please explain

・位置座標について → 単一工場である 2018年から移転開始2020/12移転完了 移転先の緯度経度は次の通り 緯度: 34.619029 経度: 135.82916 ・水ストレス値の判断 Aqueductの現時点での水ストレス「Baseline water stress」Midium以上とする ・当社の考える前年比較時の閾値 → -30%以上：はるかに少ない → -5%以上～-30%未満：少ない → ±5%未満 ほぼ同じ → 5%以上～30%未満：多い → 30%以上：はるかに多い ・水源：市水（地方自治体及びそのサプライヤーより購入） ・水の消費量 生活用水に使用 多くはトイレ、手洗い等でほぼ等量を排出しており、純粋な消費は飲料用のみのため、消費はほぼゼロと考える

Facility reference number

Facility 3

Facility name (optional)

EFM

Country/Area & River basin

Thailand	Other, please specify (Bang Pakong)
----------	-------------------------------------

Latitude

13.428201

Longitude

101.030467

Located in area with water stress

Yes

Primary power generation source for your electricity generation at this facility

<Not Applicable>

Oil & gas sector business division

<Not Applicable>

Total water withdrawals at this facility (megaliters/year)

42.67

Comparison of total withdrawals with previous reporting year

Lower

Withdrawals from fresh surface water, including rainwater, water from wetlands, rivers and lakes

0

Withdrawals from brackish surface water/seawater

0

Withdrawals from groundwater - renewable

0

Withdrawals from groundwater - non-renewable

0

Withdrawals from produced/entrained water

0

Withdrawals from third party sources

42.67

Total water discharges at this facility (megaliters/year)

34.14

Comparison of total discharges with previous reporting year

Lower

Discharges to fresh surface water

0

Discharges to brackish surface water/seawater

0

Discharges to groundwater

0

Discharges to third party destinations

34.14

Total water consumption at this facility (megaliters/year)

8.53

Comparison of total consumption with previous reporting year

Lower

Please explain

・位置座標について → 近接する2工場の集合体である。 ・集約方法は会社単位（全2工場） ・座標は本社工場の座標である。 ・水ストレス値の判断 Aqueductの現時点での水ストレス「Baseline water stress」Midium以上とする ・当社の考える前年比較時の閾値 → -30%以上：はるかに少ない → -5%以上～-30%未満：少ない → ±5%未満：ほぼ同じ → 5%以上～30%未満：多い → 30%以上：はるかに多い ・水源：市水、工水（地方自治体及びそのサプライヤーより購入） ・第三者の排水先：下水道 ・水の消費量 生産工程（冷却）と生活用水に使用 計算により取水量＝排水量で算出

Facility reference number

Facility 4

Facility name (optional)

EXT

Country/Area & River basin

Thailand	Other, please specify (Bang Pakong)
----------	-------------------------------------

Latitude

13.356585

Longitude

101.007602

Located in area with water stress

Yes

Primary power generation source for your electricity generation at this facility

<Not Applicable>

Oil & gas sector business division

<Not Applicable>

Total water withdrawals at this facility (megaliters/year)

72.1

Comparison of total withdrawals with previous reporting year

Lower

Withdrawals from fresh surface water, including rainwater, water from wetlands, rivers and lakes

0

Withdrawals from brackish surface water/seawater

0

Withdrawals from groundwater - renewable

0

Withdrawals from groundwater - non-renewable

0

Withdrawals from produced/entrained water

0

Withdrawals from third party sources

72.1

Total water discharges at this facility (megaliters/year)

57.68

Comparison of total discharges with previous reporting year

Lower

Discharges to fresh surface water

0

Discharges to brackish surface water/seawater

0

Discharges to groundwater

0

Discharges to third party destinations

57.68

Total water consumption at this facility (megaliters/year)

14.42

Comparison of total consumption with previous reporting year

Lower

Please explain

・位置座標について → 近接する2工場の集合体である。 ・集約方法は会社単位（全2工場） ・座標は本社工場の座標である。 ・水ストレス値の判断 Aqueductの現時点での水ストレス「Baseline water stress」 Midium以上とする ・当社の考える前年比較時の閾値 → -30%以上：はるかに少ない → -5%以上～-30%未満：少ない → ±5%未満 ほぼ同じ → 5%以上～30%未満：多い → 30%以上：はるかに多い ・水源：市水、工水（地方自治体及びそのサプライヤーより購入） ・第三者の排水先：下水道 ・水の消費量 生産工程（冷却）と生活用水に使用 計算により取水量—排水量で算出

W5.1a

(W5.1a) For the facilities referenced in W5.1, what proportion of water accounting data has been externally verified?

Water withdrawals – total volumes

% verified

76-100

What standard and methodology was used?

請求書や水道メーターに基づく検針値

Water withdrawals – volume by source

% verified

76-100

What standard and methodology was used?

請求書や水道メーターに基づく検針値

Water withdrawals – quality

% verified

76-100

What standard and methodology was used?

取水の質を確認するのは、川および地下水を用いる拠点である。(施設1 DNX-T) こちらに関しては常時監視で質を管理している。上水完備の拠点については水質管理は必要としていない

Water discharges – total volumes

% verified

76-100

What standard and methodology was used?

請求書や水道メーターに基づく検針値

Water discharges – volume by destination

% verified

76-100

What standard and methodology was used?

請求書や水道メーターに基づく検針値

Water discharges – volume by treatment method

% verified

76-100

What standard and methodology was used?

請求書や水道メーターに基づく検針値

Water discharge quality – quality by standard effluent parameters

% verified

76-100

What standard and methodology was used?

・外部業者による排液の測定結果(計量証明書に基づく)

Water discharge quality – temperature

% verified

1-25

What standard and methodology was used?

当社の排水温度はほぼ常温であり 測定を必要としない。社内で実測

Water consumption – total volume

% verified

51-75

What standard and methodology was used?

Technical Noteに従う。屋根散水使用量や冷却塔からの蒸発した量とする

Water recycled/reused

% verified

26-50

What standard and methodology was used?

設備導入時の始動時の実測データより算出

W6. Governance

W6.1

(W6.1) Does your organization have a water policy?

Yes, we have a documented water policy that is publicly available

W6.1a

(W6.1a) Select the options that best describe the scope and content of your water policy.

	Scope	Content	Please explain
Row 1	Company-wide	Recognition of environmental linkages, for example, due to climate change	ISO140001の環境方針として作成 ◎安全衛生・環境方針（日本語）.pdf

W6.2

(W6.2) Is there board level oversight of water-related issues within your organization?

Yes

W6.2a

(W6.2a) Identify the position(s) (do not include any names) of the individual(s) on the board with responsibility for water-related issues.

Position of individual	Please explain
Chief Executive Officer (CEO)	1. 位置づけ・役職：代表取締役社長・環境マネジメントシステムの最高審議機関「EGC委員会」の委員；ISO14001・環境マネジメントシステムの最高責任者（全社環境統括管理者）の任命者；ISO14001・環境マネジメントシステムの有効性の説明義務を持つ 2.水及び気候関連の決定事例：・拠点の洪水リスク対応（移転）2018年～2020年・SDGsへの対応、情報開示の強化 2019年～ ・設備の洪水リスク対応（本社：地下タンク周辺の防潮堤嵩上げ置）2020年～・net zeroの推進 2020年～ 気候変動指標類のKPI化（取締役会定期管理事項へ）：水は次年度予定 単年度原単位目標 ⇒2030年、2050年目標（総量）へ変更

W6.2b

(W6.2b) Provide further details on the board's oversight of water-related issues.

	Frequency that water-related issues are a scheduled agenda item	Governance mechanisms into which water-related issues are integrated	Please explain
Row 1	Scheduled - some meetings	Monitoring implementation and performance Reviewing and guiding major plans of action Reviewing and guiding risk management policies Reviewing and guiding strategy Reviewing and guiding corporate responsibility strategy	・水使用量、法遵守状況に対処するための目標と進捗水など指標については毎月の取締役会の報告事項となっている 水など目標値の見直しや目標の設定については、原則 社内取締役全メンバーの出席するEGC委員会内での議題となることが多い・リスク管理方針の審査と指導 自然災害対策等BCM関連項目については、適時議題となっている

W6.3

(W6.3) Provide the highest management-level position(s) or committee(s) with responsibility for water-related issues (do not include the names of individuals).

Name of the position(s) and/or committee(s)

Other C-Suite Officer, please specify (全社環境統括責任者 (取締役))

Responsibility

Both assessing and managing water-related risks and opportunities

Frequency of reporting to the board on water-related issues

More frequently than quarterly

Please explain

役職：全社環境統括責任者 1. 位置づけ・取締役・環境保全活動推進の最高責任者・環境保全活動推進の最高審議機関「EGC委員会」の議長 2. 責任の内容、モニタリング方法・水リスクを含む環境保全活動推進トップ。・環境事務局より次の報告を受ける→環境目標の進捗報告(毎月)→法令、顧客要求、その他のニーズなどの環境情報(毎月)→マネジメントレビューでのインプット項目について報告(半年に1回)・入手した必要な情報について判断を行い、重大さに応じ、取締役会、経営会議、EGC委員会で議題提出する・経営層(取締役)と執行役員立場から、全社の環境活動の方針を定め、取締役会、企業の戦略の情報から想定しうる「リスクと機会」の情報など適切な情報を環境事務局へ与え、指示を行う/また水リスクを始めEMSを通じて集められた情報や法順守状況など重大な影響を与える案件について適宜取締役会の議題とし、報告する・水リスク問題を含む環境情報の外部公開を判断・環境目標の設定、計画の進捗、法順守状況の管理(毎月)⇒水指標に関しては指標報告の一環で取締役会で報告(毎月)・環境に関連する全社の「リスクと機会」を決定する・環境マネジメントシステムの有効性、妥当性を判断 当社の製品群は1つの分野に特化しているため、製造拠点毎のリスクは立地によるものを除くと共通しており、主だった水に関するリスクは次の2つとなる ①自然災害による物理リスク ②環境規制や地域のニーズに対応するためのリスク ③に関しては取締役会や上位経営会議で取り扱われる ④についてはEGC委員会で取り扱われる 複数のプロセスが存在して個々に評価を行っていることからそこで経営層と環境事務局がシンプルに共通認識を持ち水リスクに対処するための工夫として全社環境統括責任者にすべての情報を集約し、最終判断を行う仕組みを採用している

Name of the position(s) and/or committee(s)

Other C-Suite Officer, please specify (EGC委員会：CEOを含む当社の全社の環境保全活動を審議推進する最高機関。ISO14001の仕組みにて規定。構成メンバーはCEO、全社環境統括管理者(取締役)、全社環境担当責任者(執行役員)、その他執行役員、監査役からなり、当社の取締役会の社内取締役が全て含まれている)

Responsibility

Both assessing and managing water-related risks and opportunities

Frequency of reporting to the board on water-related issues

As important matters arise

Please explain

EGC委員会：当社の全社の環境保全活動を審議推進する最高機関。ISO14001の仕組みにて規定。構成メンバーはCEO、全社環境統括管理者(取締役)、全社環境担当責任者(執行役員)、その他執行役員、監査役からなり、当社の取締役会の社内取締役が全て含まれている 1. 委員会の位置づけ・EGC委員会は当社の全社の環境保全活動を審議推進する最高機関。ISO14001の仕組みにて規定。・構成メンバーはCEO、全社環境統括管理者、全社環境担当責任者、執行役員、監査役からなる。・取締役会のうち主要メンバーである社内取締役全員が含まれているため、取締役会に非常に近い側面を持つ 2. 責任の内容・EGC委員会は当社グループの環境マネジメントのため次の4項について審議を行う。 1) 環境目標、 2) 事業上のリスク及び機会 3) 周囲の状況や社会環境、利害関係者の要求の変化 4) その他都度提出された議題 ※気候関連問題は環境マネジメントシステムにて解決すべき課題の一つとして、削減目標を定め、その進捗を管理、対策を実施している。 3. モニタリング方法・EGC委員会：半年に1回開催(定期開催)

W6.4

(W6.4) Do you provide incentives to C-suite employees or board members for the management of water-related issues?

	Provide incentives for management of water-related issues	Comment
Row 1	No, not currently but we plan to introduce them in the next two years	

W6.5

(W6.5) Do you engage in activities that could either directly or indirectly influence public policy on water through any of the following?

No

W6.6

(W6.6) Did your organization include information about its response to water-related risks in its most recent mainstream financial report?

Yes (you may attach the report - this is optional)

有価証券報告書.pdf

P15

W7. Business strategy

W7.1

(W7.1) Are water-related issues integrated into any aspects of your long-term strategic business plan, and if so how?

	Are water-related issues integrated?	Long-term time horizon (years)	Please explain
Long-term business objectives	Yes, water-related issues are integrated	16-20	当社は経営方針に「よき企業市民」であることを掲げ、CO2の削減だけでなく環境負荷全般の削減に努めている。水問題についても、気候変動による影響が懸念されており、Aqueductによる分析によると2040年での水ストレスは現時点では水ストレスの低い、もしくは中程度の中国や東南アジアの拠点が極めて高いと評価されている。従来の水質汚濁だけでなく、水不足への対応は「よき企業市民」として必要だと考えています。水問題については地域性が強いいため、水不足や水質に伴う操業への影響を評価しいンバクトの大きな地域から冷却水のクローズドシステムの導入など高効率化設備、リサイクルシステムの導入を推進し、改善を継続します。
Strategy for achieving long-term objectives	Yes, water-related issues are integrated	21-30	2050年、世界の人口は91億、水の需要は現在より55%増加、その影響で水不足に悩まされる人は全人口の40%に達すると言われています。気候変動問題と同様に水問題に対してもすぐに対処できるわけではないと考えており、長期的な目標を掲げた活動が必要だと考えています。当社の生産拠点でも洗浄や設備の冷却に水を使用しています。そのため、水環境へのインパクトを少しでも減らさなければならぬと考えています。水量の削減は省資源だけでなく、コスト削減の観点からも重要であり、効率利用、排水のリサイクルを推進しています。
Financial planning	Yes, water-related issues are integrated	5-10	水資源の効率利用に向けた冷却システムや排水リサイクル設備の導入にはコストがかかります。特に排水のリサイクルについては最もコストがかかります。当社では中国など、地域行政からの規制強化などのリスク評価を行い、リスクの高い拠点から排水処理設備の拡充などの対策を順次、検討、実施しています。また洪水のリスクに関してはBCMの観点から、1拠点の移転を実施しています。

W7.2

(W7.2) What is the trend in your organization's water-related capital expenditure (CAPEX) and operating expenditure (OPEX) for the reporting year, and the anticipated trend for the next reporting year?

Row 1

Water-related CAPEX (+/- % change)

Anticipated forward trend for CAPEX (+/- % change)

Water-related OPEX (+/- % change)

0

Anticipated forward trend for OPEX (+/- % change)

0

Please explain

W7.3

(W7.3) Does your organization use climate-related scenario analysis to inform its business strategy?

	Use of climate-related scenario analysis	Comment
Row 1	Yes	

W7.3a

(W7.3a) Has your organization identified any water-related outcomes from your climate-related scenario analysis?

Yes

W7.3b

(W7.3b) What water-related outcomes were identified from the use of climate-related scenario analysis, and what was your organization's response?

	Climate-related scenarios and models applied	Description of possible water-related outcomes	Company response to possible water-related outcomes
Row 1	Other, please specify (WRI "The Aqueduct Global Flood Analyser", 環境省「気候変動の観測・予測および影響評価総合レポート」)	今後の気候シナリオに関連する水関連影響の説明・当社は25の生産拠点のうち5か所は川の真横に隣接している。河川の氾濫は最も関心の強いリスクである。そのうちの1拠点は浸水リスクが高いため2020年移転を完了。残りの4拠点については現時点でハザードマップでの浸水レベルは十分に低く、ハードにての対策を主に実施している。しかしながら温暖化の影響でハザードレベルが依然と比較し2040年以降さらに悪化すると思われる異常気象の激甚化：集中豪雨頻度 現在 発生確率0.3回/年（日本）⇒4℃シナリオにて2100年頃0.6回/年 IPCC「変化する気候下での海洋・雪氷圏に関するIPCC特別報告書」100年に1度の極端水位(パ'ント)日本太平洋側 2040年以降1年に一度に	対応リスクのレベルに併せて拠点の移転が必要になる。ハザードマップ等の情報収集を行い常に最新化する。予測スケジュール 拠点移転の場合、通常決定から操業開始まで平均3年必要としている。集中豪雨にて、操業停止リスクの高い淀川流域の拠点がある。ハザードマップによるリスク評価の結果・洪水によって想定される浸水深 3 ~ 5 m (想定最大規模)・地形からわかる災害リスク：旧河道・数年以内に被害にあう可能性が高いこのリスクに対応するためには、リスクの移転として、「生産拠点移転」を進めている。2018年より着手し2020年12月移転完了 リスク対応費用は2020年度実績：連結その他費用：63.3億円 生産拠点移転費用：3.3億円・新工場建設費44億円は資本支出であり、移設工事費用3.3億円をリスク対応費用として計上する。

W7.4

(W7.4) Does your company use an internal price on water?

Row 1

Does your company use an internal price on water?

No, but we are currently exploring water valuation practices

Please explain

当社の部品は金属の加工、組立が主流のため、水の使用量は少なく、現状はウォータープライシングは検討していないが、取り巻く周囲の状況や要請があった場合どう対応するかについては調査を行い、必要に応じて対応できる体制づくりを努めている

W8. Targets

W8.1

(W8.1) Describe your approach to setting and monitoring water-related targets and/or goals.

	Levels for targets and/or goals	Monitoring at corporate level	Approach to setting and monitoring targets and/or goals
Row 1	Company-wide targets and goals	Targets are monitored at the corporate level	<目標の設定> 目的・公害の未然防止・水の使用量削減 目標・行政指導による緊急事態ゼロ・水の使用量を前年度同量とする(0%削減) <モニタリング方法> 各拠点より月1回環境報告集約、使用量、緊急事態の発生有無を確認

W8.1a

(W8.1a) Provide details of your water targets that are monitored at the corporate level, and the progress made.

Target reference number

Target 1

Category of target

Water withdrawals

Level

Company-wide

Primary motivation

Cost savings

Description of target

水の使用量を2019年度比同量とする（0%削減）

Quantitative metric

% reduction in total water withdrawals

Baseline year

2019

Start year

2020

Target year

2021

% of target achieved

100

Please explain

気候変動の目標を2020年度2019年度比で設定を行った。これに伴い、水も2019年を基準年するが、活動が単年の活動のため、100%とする

Target reference number

Target 2

Category of target

Water pollution reduction

Level

Company-wide

Primary motivation

Reduced environmental impact

Description of target

行政指導による緊急事態発生件数（処罰、罰金を伴うもの）：ゼロ

Quantitative metric

Other, please specify (排出規制値を超える排出を行った件数)

Baseline year

2019

Start year

2020

Target year

2021

% of target achieved

100

Please explain

気候変動の目標を2020年度2019年度比で設定を行った。これに伴い、水も2019年を基準年するが、活動が単年の活動のため、100%とする

W9. Verification

W9.1

(W9.1) Do you verify any other water information reported in your CDP disclosure (not already covered by W5.1a)?

No, but we are actively considering verifying within the next two years

W10. Sign off

W-FI

(W-FI) Use this field to provide any additional information or context that you feel is relevant to your organization's response. Please note that this field is optional and is not scored.

該当なし

W10.1

(W10.1) Provide details for the person that has signed off (approved) your CDP water response.

	Job title	Corresponding job category
Row 1	役職：全社環境統括責任者 1.位置づけ 取締役・環境保全活動推進の最高責任者	Director on board

W10.2

(W10.2) Please indicate whether your organization agrees for CDP to transfer your publicly disclosed data on your impact and risk response strategies to the CEO Water Mandate's Water Action Hub [applies only to W2.1a (response to impacts), W4.2 and W4.2a (response to risks)].

No

SW. Supply chain module

SW0.1

(SW0.1) What is your organization's annual revenue for the reporting period?

	Annual revenue
Row 1	227420000000

SW0.2

(SW0.2) Do you have an ISIN for your organization that you are willing to share with CDP?

No

SW1.1

(SW1.1) Could any of your facilities reported in W5.1 have an impact on a requesting CDP supply chain member?

Yes, CDP supply chain members buy goods or services from facilities listed in W5.1

SW1.1a

(SW1.1a) Indicate which of the facilities referenced in W5.1 could impact a requesting CDP supply chain member.

Facility reference number

Facility 1

Facility name

DNX-T

Requesting member

Honda Motor Co., Ltd.

Description of potential impact on member

生産工程に用いる水の安定供給

Comment

Facility reference number

Facility 1

Facility name

DNX-T

Requesting member

Toyota Motor Corporation

Description of potential impact on member

生産工程に用いる水の安定供給

Comment

SW1.2

(SW1.2) Are you able to provide geolocation data for your facilities?

	Are you able to provide geolocation data for your facilities?	Comment
Row 1	Yes, for all facilities	

SW1.2a

(SW1.2a) Please provide all available geolocation data for your facilities.

Identifier	Latitude	Longitude	Comment
施設 2 EXK	34.737145	135.82006	2020.12移転済 移転先の緯度経度は次の通り 緯度: 34.619029 経度: 135.82916
施設 3 EFM	13.428201	101.030467	
施設 4 EXT	13.356585	101.007602	
施設 1 DNX-T	42.680448	141.740104	

SW2.1

(SW2.1) Please propose any mutually beneficial water-related projects you could collaborate on with specific CDP supply chain members.

SW2.2

(SW2.2) Have any water projects been implemented due to CDP supply chain member engagement?

No

SW3.1

(SW3.1) Provide any available water intensity values for your organization's products or services.

Submit your response

In which language are you submitting your response?

Japanese

Please confirm how your response should be handled by CDP

	I am submitting to	Public or Non-Public Submission	Are you ready to submit the additional Supply Chain questions?
I am submitting my response	Investors Customers	Non-public	Yes, I will submit the Supply Chain questions now

Please confirm below

I have read and accept the applicable Terms